

外観



春は筍の名産地として有名な中津市瀬戸地区に立地。創設33年を迎えた当施設では、利用者の受け入れに対応すべく、ベッド数を20床増床。省エネ設備機器を導入し、ZEBReadyを満足した改修を行った。

1F全体図面



1Fはデイサービス(定員20名)、2・3Fは従来型・多床室(4人室)の特別養護老人ホーム(約100床)が配置されている。

2・3F食堂兼機能訓練室 トイレ



大便器には、座位の安定をサポートする背もたれと手すりを採用。さらに、便器移乗時の動作・姿勢の安定が図れる前方ボード(スイングタイプ)を設置し、転倒リスクや介助者の負担を軽減している。

2・3F居室



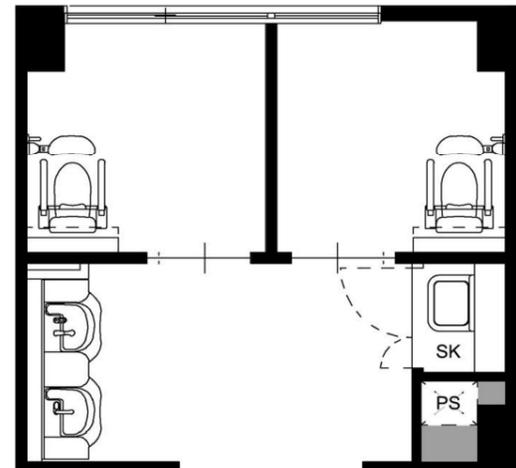
自然光の入る明るい居室。洗面器には、利用者の使い勝手を考えホース付きの水栓を採用している。

1F来客用男性トイレ



小便器は、高齢者の方にも使いやすく、床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛自動洗浄小便器を採用。洗面は、水濡れを心配せずに手荷物を置けるツインデッキカウンターを設置している。

2・3F共用トイレ 図面



1フロアに2ヶ所、左右勝手違いの共用トイレを設置している。車いすから大便器への移乗がしやすいよう、トイレ入口を後方に設けるレイアウトをとっている。

2・3F汚物処理室



十分な広さを確保した汚物処理室には、洗濯機パンのほか、洗濯用流しや汚物流しを設置している。

改修前トイレ



改修前のトイレには扉がなく、カーテンで仕切りを設けていた。また、湿式清掃のため滑りやすく、清掃負担も大きかった。

2・3F共用トイレ入口



共用トイレは、誰もが使用しやすいように、左右勝手違いで設置。車いすの回転スペースを考慮。広めの開口を確保するなど、介助しやすい工夫をしている。

2・3F共用トイレ 洗面コーナー



車いすのまま使用可能な車いす対応洗面を採用。配管やコードは、車いすのフットレストに干渉しない上部に設置し、足元スペースを確保している。水栓はホース付きタイプの手動と自動の2種類を設置している。

建築概要

名称	特別養護老人ホーム 瀬戸の里
所在地	岐阜県中津市瀬戸1387番地の8
施主	社会福祉法人 五常会
設計	株式会社空 建築事務所
施工	株式会社吉川工務店
竣工年月	(改修)2018年2月

水まわりの特長

<改修の経緯>
「瀬戸の里」は、自然豊かな中津川市で運営される特別養護老人ホームを中核とする介護老人福祉施設。日々の食事・入浴・排泄そして健康管理など、一人ひとりの「生活の質」の向上を目指し、人としての尊厳と、安心・安全が確保されることを目的とする。経営指針として、だれもが、残存機能を活用しながら「ふつうの暮らし」や価値感を持つホームとして、「瀬戸の里」に入って良かった」と言っていたできるように支援を行っている。創設33年を迎えた当施設では、さらなる利用者の受け入れに対応すべく、ベッド数を増床。増築および設備などの新たな改修を実施した。

<トイレの特長>
改修にあたり、利用者と介助者双方の負担軽減を考慮したレイアウトと器具の選定を実施。共用トイレは、誰もが使用しやすいように、左右勝手違いで2ヶ所設置。ブースは広めの開口を確保し、介助者も一緒に入りやすく、さらに移乗をサポートする前方ボード(スイングタイプ)を設置することで、介助者負担をも軽減している。また、共用トイレの洗面は、車いすのまま使用できる車いす対応洗面を採用。ホース付きタイプの手動水栓と自動水栓の2種類を設置し、利用者の用途にあわせて選べる工夫をしている。